

総合交通メールマガジン 第26号

平成22年8月30日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 高橋参事官室

目次



ごあいさつ（国土交通省 政策統括官 小島 愛之助）



地域の取組紹介

- ・ 島根県松江市（松江3M 「Matsue-Mobility-Management」
～「ひと」「まち」「地球」の縁結び～）
- ・ 鹿児島県鹿屋市（鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの取り組み）



Information

- ・ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・ 地域の取組募集！！



編集後記

ごあいさつ（国土交通省 政策統括官 小島 愛之助）



政策統括官の小島です。8月の人事異動に伴う担当業務の変更で、総合的な交通体系の整備などを担当することになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は、平成10年から14年にかけての4年余り、国土庁と国土交通省で離島振興課長をつとめさせていただきました。

我が国の離島をとりまく課題には種々多様なものがありますが、交通手段の確保がそうした課題の中でも大きな位置を占めるものであることは改めて申すまでもないことであらう。

四方を海に囲まれているが故の本土との交通手段の確保はもちろんのこと、過疎地域であるがために島内、地域内の交通手段すら十分とはいえない状況にあるわけでございます。

そのような現実には直面させられるにつけて、憲法で保障されているはずの生存権のあり様を考えさせられてまいりました。

今回担当させていただき総合的な交通体系の整備という観点に立てば、地域におけるモビリティの確保が重要であるということになります。

具体的な施策については、各地域の実情に即して進められていくべきものでありますが、施策の推進に当たっては、各地域の取組事例を収集・分析した上で、その結果を共有していくことが重要であります。

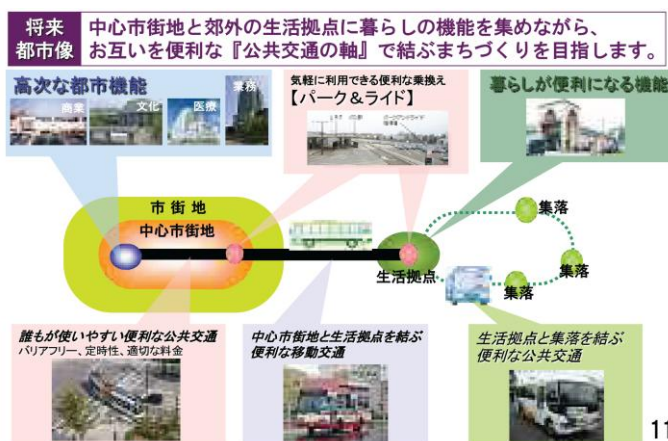
このメルマガでは、総合的な交通体系の整備に関する国の施策を御説明するとともに、各地域における様々な取組についても、出来る限りタイムリーに御紹介してまいりたいと思います。

メルマガを通じた情報の発信をふまえて、それぞれの地域やお立場で施策を推進される方々と問題意識を共有しながら、一歩一歩進んでまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

地域の取組紹介

✈️ 鳥根県松江市(松江3M(Matsue-Mobility-Management)-「ひと」「まち」「地球」の縁結び) (松江市、国土交通省 中国地方整備局松江国道事務所)

松江市では、中心市街地と郊外の生活拠点に暮らしの機能を集めながら、お互いを便利な「公共交通の軸」で結ぶまちづくりを目指しています。これらのまちづくりに向け、産業・文化都市の側面と観光都市の側面を調和させながら、自動車利用の抑制と歩行者と公共交通優先のまちづくりを進めることを重点施策として掲げて、様々な実験的な取り組みを行っています。



松江市の将来都市像

以下より、松江市および松江国道事務所よりご紹介いただく取組については、総称して、松江3M (Matsue - Mobility - Management) と呼んでおり、今年度の第5回 JCOMM (日本モビリティマネジメント会議) マネジメント賞を受賞した取り組みです。

【松江3Mの取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1008matsue.pdf>

松江市の交通政策：

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/kurashi/koutsu/index.html>

松江市の交通とまちづくり：

<http://www1.city.matsue.shimane.jp/matidukuri/koututomatidukuri/kotumachi/kotumachi.html>

国土交通省松江国道事務所：<http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

鹿児島県鹿屋市(鹿児島中央駅～鹿屋間直行バスの取組み)

(鹿屋市役所 企画調整課)

鹿屋市は、県庁所在地である鹿児島市と錦江湾を挟んで対岸にある都市であり、両都市間の移動については、陸路を大回りするか、フェリーとバスを何度も乗り継がなければならず、あまり利便性がよい状況とは言えない状態でした。

そこで、平成23年に予定している九州新幹線の開業効果を鹿屋市・大隅半島に波及されることも考慮し、鹿児島-鹿屋市両都市間の移動の利便性を向上させるため、フェリーにバスを乗せて乗り換えなく移動できる直行バスを導入しました。この直行バスの取組みについて、鹿屋市より紹介いただきます。



【鹿屋市の取組概要についてはこちら↓】

<http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/1008kanoya.pdf>

鹿屋市(鹿児島中央駅-鹿屋間直行バス)サイト：

http://www.e-kanoya.net/htmbox/kikaku/20091201_tyokkou.html

Information

総合交通メールマガジンの受付窓口の変更についてお知らせ下さい。

人事異動等により、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail : soukou@mlit.go.jp

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて48件の取組を紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



先日、夏休みを頂き、関西へ帰省しておりました。連日、とけるような猛暑でしたので、田舎の川へ水遊びにでかけました。滋賀県の山奥にある非常にきれいな川で、川の中の魚をてづかみで採ろうとしたり（魚の動きが速く全くとれませんでした）、岩場から飛びこんだり、日本の自然の美しさに癒されてきました。普段、川で泳いだことがなかった娘も、思い出深かったようで、早速帰宅した際に絵日記をかいておりました。

さて、我々の組織について今夏の人事異動により、小島愛之助政策統括官が新たに就任致しました。冒頭のあいさつにもございましたが、様々なお役に立つ情報をタイムリーに提供し続けていきますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 小林寛

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

